

令和8年度 第1回久留米市食育推進会議 議事録

日時：令和8年4月23日（水） 10：00～11：15

場所：久留米市職員会館メルクス 3階ホール

出席者：橋本会長、浅野副会長、多々野委員、鶴委員、柿原委員、菊池委員、友野委員、池田委員、吉瀬委員、永田委員、末安委員、尾形委員、笠委員、若江委員、藤田委員（代理）、馬場委員、橋本委員、大野委員、平田委員
19名

欠席者：山下委員、江崎委員、森山委員、和田委員 4名

事務局：農政部 井上次長

農政課 池田主幹、池上補佐、松岡主査、澁田

農業の魅力促進課 河野課長、大石補佐

子ども未来部子ども保育課 石橋課長、重永

子ども未来部こども子育てサポートセンター 乙丸所長、小林補佐

教育部学校教育課 田中課長、藤原指導主事

教育部学校保健課 深田課長、相浦主査

健康福祉部保健所健康推進課 洪田課長、島本主査、山口

環境部資源循環推進課 植田課長、執行

傍聴者：なし

次第：1 会長あいさつ

2 委員紹介

3 報告

国の第5次食育推進基本計画の作成状況について

4 協議事項

(1) 第5次久留米市食育推進プラン策定に向けた現プランの総括

(2) 第5次久留米市食育推進プランの策定スケジュール

5 その他

議事：

1 会長あいさつ

2 委員紹介

3 国の第5次食育推進基本計画の作成状況について

事務局説明

質問・意見なし

4 協議事項

(1) 第5次久留米市食育推進プラン策定に向けた現プランの総括

A委員	<p>昨年度から食育推進会議に出ており、農業まつりにも参加した。食事は空腹を満たすためと考えがちであるが、楽しみの一つとして食事をするを親として教えていきたいと思った。農業まつりのブースには、紙をめくると答えが出てくるクイズがあり、子どもは楽しく参加していた。そのような取組みがいろいろな子供に広がればよいと思った。自分の子供は給食が大好きでよく食べるが、早く食べないといけないということに支配されてしまっている。学校のカリキュラム上仕方がないのかもしれないが、友達と楽しんで食べてほしい。そこが上手くいけばいいと考えている。</p>
B委員	<p>中学校でのPTAの取組みとして、前年度キムチ教室を開催した。個人的に家庭でも作っているため提案したらとても好評だった。塩漬けから何日もかかる難しいものではなく、簡単に即席で作れるキムチを提案した。できるだけ食べやすい浅漬けに近いキムチを作り、校長先生はじめ家でも作ったという声をもらった。</p>
会長	<p>A委員から学校給食の時間にゆとりをもって食べられるといいと話があったがどうか。</p>
C委員	<p>給食時間は基本的に45分。その中で準備して片付けもしなければならず、残りが食事の時間である。準備にかかる時間が異なるため、食事に充てられる時間も学校や学級により異なっている。「担任と連携した教科書等指導を実施した栄養教諭の割合」の指標について、栄養教諭の方は担任の先生とたくさん連携してくれている。しかし、栄養教諭を配置していない学校がまだまだたくさんある。そこでは栄養士が取り組んでいる。栄養教諭の配置促進が国の計画にあるので、それが進めばよいと願っている。「学校給食残食率の平均値」のC評価は、目標達成のために残食率を減らそうとすると早く食べなさいなど指導が厳しくなるため、あまり求めなくていいのではと思う。社会科の授業でも食品ロスやゴミの話について教えているため、求めすぎないようにしたい。</p>
D委員	<p>「食育に関心をもつ市民の割合の指標」で10～20代の関心は上がってきているが意識に繋がっていないのは、小さい頃からの家庭での取り組みや食事が影響していると感じる。食べたもので体が作られているという保護者、家庭の関心が大事。</p>
E委員	<p>居酒屋や道の駅のレストラン、福祉事業の経営に携わっている。精神疾患の方を中心とした就労支援をしている。その背景として不登校や発達障害が増えている中で、食を通して何かできないかと考えており、いりこ等海産物や循環農法の旬野菜でミネラルを摂取できる食を提供している。会議開始前に流れていた動画はとてもよいと思う。「いただきます」と「ごちそうさま」と感謝をすることで健康状態が変わってくる。栄養もそうだが、メンタルの低下や10代の自殺率の上昇という課題に対し、食べることを通して考え方や捉え方を変えることで生きる力を育むことができると実感している。大人がその姿を見せるという指標を盛り込むことで楽しく、いい食事の時間を作ることが出</p>

	<p>来ることで、栄養吸収がよくなったり、セロトニンやオキシトシンというホルモンが出て健康への貢献が期待できると思う。</p>
会長	<p>「いただきます」と「ごちそうさま」は次の計画においても検討してほしい。</p>
F委員	<p>小学校2年生と5年生に田植えの体験活動をしている。青年部の盟友も年々減少しており、各地域でも休止を考えているところもある。その中で田植えなどの活動に出席できるメンバーも減少している。私は安武小学校で携わっており、田植えから稲刈りを行っているが、食育を通して食の大切さを伝えるために、もう少し何かできないかと考えている。田植え後の管理作業は青年部がしているが、肥料をまいたり草刈りをしたり、本当に大変な作業を見せられていない。そういった部分を経験してもらえば食の大切さや米のおいしさを伝えることができると思う。</p>
G委員	<p>「環境に配慮した食育」の課題に、作った堆肥の受入れ先や活用先を確保し、生ごみを資源として循環する仕組みが必要とある。女性部の先輩で家庭菜園をしていて朝市で販売していた方がいた。その時にまちの方が作った堆肥が畑もないため処分が出来ない、という話を聞き、朝市でチケットを配り野菜と交換する仕組みを作っていた。現在もその取組みは行われているが、朝市の会の会員も高齢化が進んで半減している。道の駅でもこのような循環する取組みが出来たら消費者にとってもいいのではないかと思う。</p>
H委員	<p>食育への意識は高まっているが、『各家庭の行動』には繋がっていない。「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合」の指標があるが、住民が食物繊維を取ってお通じが良くなると自分の健康に関わると実感できる。そのように行動と結果がドッキングすると『各家庭の行動』も変容する可能性があると思う。しかし社会の意識を動かした取組みは高く評価できる。</p>
D委員	<p>「朝食または夕食を家族と一緒に食べる3歳児の1週間あたりの共食の回数」の指標だが、なぜ一緒に食べられなかったのか理由はわかるか。</p>
事務局	<p>3歳児健診の際にアンケートをとっており、その結果で回数を出しているが理由までは把握していない。</p>
D委員	<p>3歳児健診で理由を聞くことはできないか。</p>
事務局	<p>個別健診と集団検診で実施しているが、個別健診を受診する方が多い。するとすれば集団健診になる。</p>
会長	<p>原因がわからなければ改善に繋がらないので、できる範囲内で理由を把握できるよう次期プランでは検討していただきたい。他に事務局から説明や補足はないか。</p>
事務局	<p>「担任と連携した教科等指導を実施した栄養教諭の割合」は少しずつ増えてきているが、栄養教諭の配置が17名であり、それ以外については市の会計年度任用職員の栄養士の資格を持ったものを配置している。指標が栄養教諭の割合になっているため、全ての学校が網羅され</p>

	<p>ている指標ではない。栄養教諭の仕事は給食管理と教科指導があり、給食の時間に一緒に食べて指導することもある。次期プランの指標はそのようなことも踏まえて検討したい。</p>
事務局	<p>栄養教諭には配置基準があり、それに基づいている。久留米市は自校式で実施している小学校において、栄養教諭が配置されており、配置されていない小学校については、会計年度任用職員の栄養士を配置しているので手厚い。国の5次食育推進基本計画骨子（案）のとおり栄養教諭の配置促進が実現すればいいと考えている。</p>
事務局	<p>「朝食または夕食を家族と一緒に食べる3歳児の1週間あたりの共食の回数」についてだが、子どもの食事に比べて保護者の食事は後回しになる傾向がある。子育て世代は時間がないため出来ていないというのが理由の一つである。</p>
会長	<p>次期プランでは、共食をすることのメリットを含めて結び付けてほしい。</p>
I委員	<p>「地産地消を意識している市民の割合」だが、商工会議所のトップが昨年末交代した。関係団体と話す中で農商工連携での商品づくりを推進していこうとしている。市外に出す前に、まずは久留米市民に食べてもらい、これはいいなと分かってもらうことが大切。その背景としてコロナ禍前は久留米商業高校の1年生240人を対象に様々な商品、食料を含めて消費者モニター調査会をしていた。良い悪いという評価ではなく、知ってもらうきっかけのために行っていた。コロナ禍で出来なくなったため、現在はSNSで行っている。グーグルマップを活用し、地産地消推進店の周知を行っているが、自身で事業所の登録ができていないところもある。そのため職員が一軒ずつ回って改善を図ろうとしている。同時に地産地消推進店のPRをしていきたい。</p>
会長	<p>その活動に大いに期待している。本日の意見は次期プラン作成に当たり参考にさせていただく。</p>

(2) 第5次久留米市食育推進プランの策定スケジュール

質問・意見なし

5 その他

ノロウイルス食中毒予防強化期間 支部・支所の取組み（久留米市食品衛生協会）

くるめ健康づくり応援店のリーフレットの紹介

くるめ健康のびのびポイントのチラシの紹介

生ごみダイエットハンドブック